

「和装（きもの文化）」ユネスコ無形文化遺産登録推進に向けた有識者検討会議について

提案〈たたき台〉は、公益財団法人 京都和装産業振興財団において、平成28年度に「和装（きもの文化）」ユネスコ無形文化遺産登録推進に向けた有識者検討会議」を開催し、とりまとめました。

【開催日／場所】

- 第1回 | 平成28年9月13日(火) 10時30分～12時
／ 新・都ホテル地下1階「桂の間」
- 第2回 | 平成28年12月20日(火) 14時45分～16時15分
／ 京都タワーホテル8階「桜寿の間＋寿楽の間」
- 第3回 | 平成29年3月13日(月) 13時30分～15時
／ 新・都ホテル地下1階「八坂の間」

「和装(きもの)文化」ユネスコ無形文化遺産登録推進に向けた有識者検討会議 開催要領

1 目的

「和装(きもの)文化」のユネスコ無形文化遺産登録に向けては、登録提案書の基礎となる定義案の策定をはじめ、国民全体を担い手として、保護・継承に取り組むことを宣言する必要がある。

一方、「和装(きもの)文化」は、国民の生活の中にある文化であるものの、取り上げる範囲は漠然としている。

このため、「和装(きもの)文化」に関する専門的な知識・技術等を有する有識者に助言をいただき、実務者協議会とともに、今後の取組を検討する場として、有識者検討会議（以下、「検討会議」という。）を開催する。

2 有識者検討会議の構成（敬称略）

(1) 学識経験者 【五十音順】

- 市田 ひろみ（服飾評論家、日本和装師会会長）
柿野 欽吾（日本きもの学会副会長、学校法人京都産業大学理事長）
河上 繁樹（学校法人関西学院大学文学部教授）
近藤 尚子（学校法人文化学園大学服装学部教授・和装文化研究所所長）
横山 俊夫（公立大学法人静岡文化芸術大学 学長）

(2) 和装業界関係者

- 池田 佳隆（京都和装産業振興財団理事長、京友禅協同組合連合会理事長）
渡邊 隆夫（京都和装産業振興財団副理事長、西陣織工業組合理事長）
野瀬 兼治郎（京都和装産業振興財団副理事長、京都織物卸商業組合理事長）
川中 隆（京都和装産業振興財団副理事長、西陣織物産地問屋協同組合理事長）
田村 輝男（京都和装産業振興財団副理事長、京染卸商業組合理事長）

(3) オブザーバー

京都府・京都市・京都商工会議所

3 検討会議の運営

(1) 検討会議は、原則として公開する。

(2) 議事概要については、事務局の責任において公開する。

配布資料の取扱いについては、資料の内容を踏まえ、事務局が資料提出者等と相談して対

を決定する。

- (3) 検討会議事務局は、公益財団法人京都和装産業振興財団とする。